

島根県 出雲市 大社地区

観光・交流

コンパクトシティ

交通利便性向上

経済活性化

健康・医療

子育て支援

防災・減災

その他

■基本情報

計画期間：平成 18 年度～平成 22 年度

面積：210ha

交付対象事業費：1,567.1 百万円

市町村人口（地区人口）：17.5 万人

■地区概要

年間 200 万人を超える観光客が訪れる出雲大社があり、かつては賑わっていた大社町。しかし、1960 年代からのモータリゼーションの到来、平成 2 年の J R 大社線の廃止等に伴い観光導線が変わり、参詣道である神門通りをはじめ門前町は衰退の一途をたどっていた。

このような状況の中、かつての賑わいを取り戻すべく各種整備を行った。

■目標

「神話の國出雲」のシンボルである出雲大社の門前町再生

- ・大社門前町のメインストリートである「神門通り」の賑わい再生
- ・出雲大社周辺の歴史や町並みの観光活用
- ・出雲文化の振興による門前町の新たな魅力づくり

■主な事業

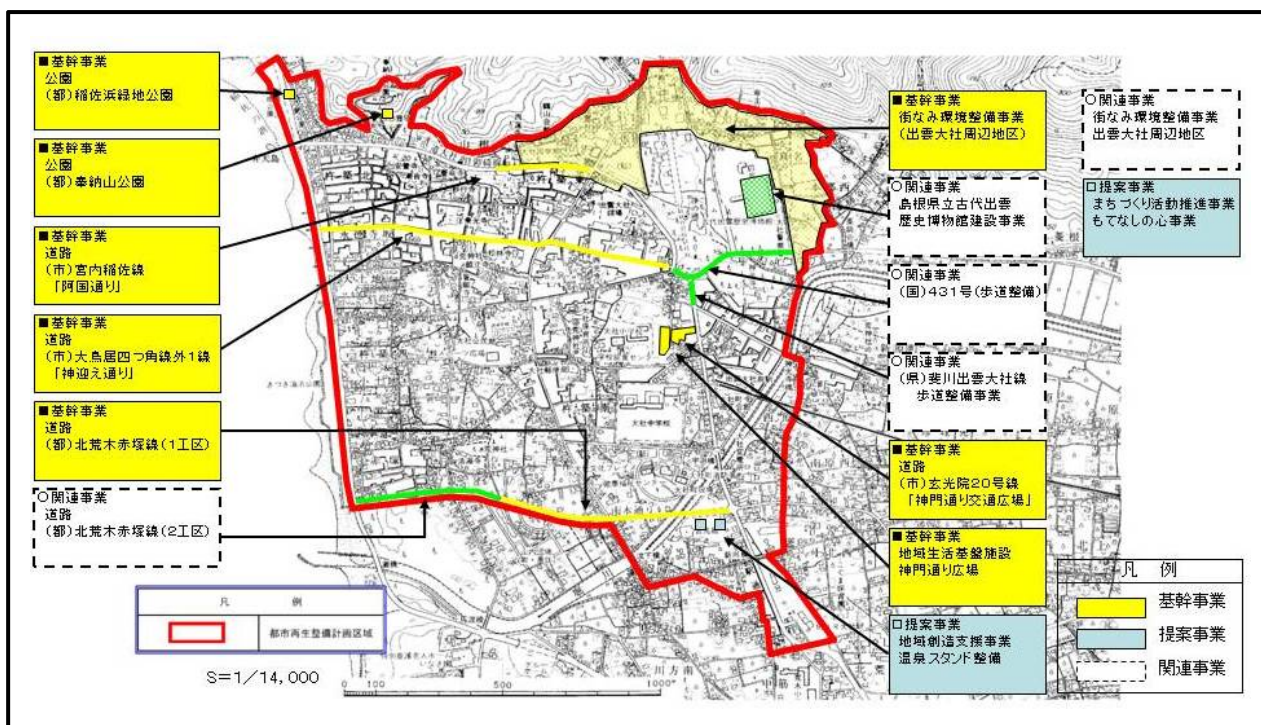
基幹事業：【道 路】道路改良・美装化（1,086 百万円）

【街なみ環境整備事業】道路無電柱化・美装化、修景（205 百万円）

【地域生活基盤施設】イベント広場（173 百万円）

【公 園 ・ 緑 地】トイレ（47 百万円）

提案事業：【地域創造支援事業】温泉スタンド（55 百万円）



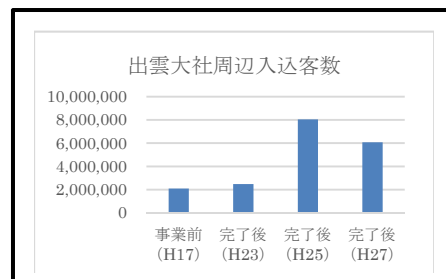
■まちづくりの実施効果

定量的な効果

●出雲大社周辺への観光入込客数の増加

以前は年間 200 万人台で推移してきた観光入込客数も、“出雲大社 平成の大遷宮”の執り行われた平成 25 年に 804 万人、以降も 600 万人台で推移しており、年間を通し多くの観光客で賑わっている。

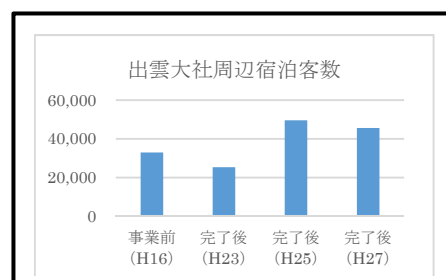
また、他の市内観光施設についても、観光入込客数が増えており、波及効果も上がっている。



●出雲大社周辺の宿泊客数の増加

観光入込客数の増加に伴い、出雲大社周辺（大社地区）での宿泊客数も増加している。

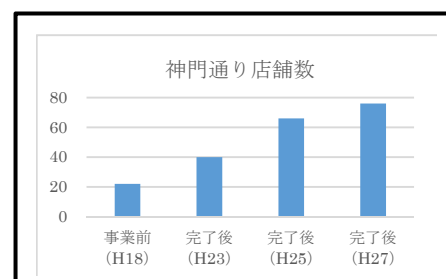
また、出雲市全体でも、以前は年間 40 万人台で推移してきたが、新規ホテルの建設もあり平成 25 年に 58 万人、平成 27 年には 60 万人を超えている。



●出雲大社の参詣道である「神門通り」の店舗数の増加

整備前の平成 18 年は 22 店舗であったが、ほとんどが観光客ではなく地元を対象としたものであった。

しかし、平成 19 年頃から徐々に観光客を対象とした店舗が増えはじめ平成 27 年には 76 店舗まで増えている。



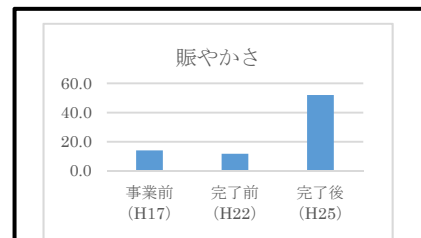
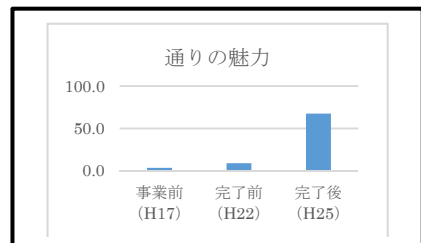
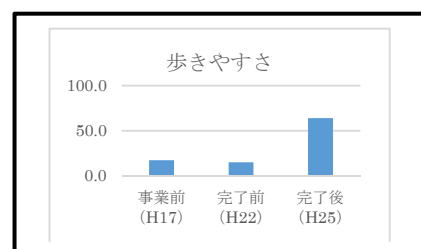
定性的な効果

事業前である平成 17 年、事業中の平成 22 年及び事業完了後の平成 25 年に、通りの“歩きやすさ”、“魅力”、“賑やかさ”について沿道でアンケート調査を行った結果、いずれも事業前に比べ大きく満足度が向上する結果となった。

また、面的に各種整備を行った結果、神門通りだけではなく、町なかを回遊する観光客が増えている。



(平成 25 年 ゴールデンウィークの様子)



■ 効果を継続させるための今後の取組み等

【行政の取組み】

- ・県内外への各種 PR のほか、町内まちあるきマップの作成・各種サイン整備等を行い、まちあるきを促す仕掛けづくりを行っています。
- ・出雲大社の門前町にふさわしい“和”を基調とした修景整備に対し、補助金を交付しています。
- ・今後は、Wi-Fi 環境の整備や、外国人観光客対策等について検討が必要と考えています。

【地元関係者の取組み】 ※現在、主に実施されているのは次の事業。年々、事業が増えている。

○各種おもてなし事業の実施

- ・休憩用の置き座の設置（神門通りは島根県おもてなし特区の認定を受け、道路区域内に置き座・行灯・幟旗・フラワーポットの設置が可能）
- ・きものでおもてなし事業（毎月第2月曜日、各店舗の接客担当者がきもので観光客をお迎えしている）
- ・おもてなし人材育成（各店舗の接客担当者を対象に定期的に“おもてなし講習会”を開催し、おもてなしの向上を図っている） 等

○出雲大社の門前町にふさわしい風格と賑わいのある景観形成に向けた取組み

- ・日除け暖簾事業（色・デザインは各自で決めるが、素材・大きさは統一されており、通りに趣と統一感を彩る）
- ・だいこくさま設置事業（出雲大社のご祭神“だいこくさま”の石像を通りに7体設置し、通りに面白みを加えている）
- ・景観パトロール（通りに景観を阻害する物がないか定期的にパトロールを実施） ・フラワーポットの設置 等

○賑わい創出事業

- ・縁結び人生ゲームの開催（沿道の店舗をゲームのマスに見立てたまち歩き人生ゲーム） ・縁日の開催 等

■ 地区 PR 欄

現在の大社地区の賑わいは、60年に1度の“出雲大社 平成の大遷宮”に向けて市が行った大社地区都市再生整備計画事業のほか、島根県により出雲大社東側への「古代出雲歴史博物館」整備（平成19年）、出雲大社の参詣道である神門通りの無電柱化・美装化、神門通りへの賑わい創出と観光客へのおもてなしを目的として地元住民などにより設立（平成20年）された“神門通り甕りの会”の各種事業、観光客へのおもてなしを目的として神門通り沿線の事業者等により設立（平成25年）された“神門通りおもてなし協同組合”の各種事業がうまく噛み合い相乗効果を発揮した結果であると考えます。

市としてのハード整備については一応の区切りがついたため、今後は市の観光セクションと神門通り甕りの会・神門通りおもてなし協同組合といった地元関係者とのソフト面での連携により、さらに街の魅力を高め、この賑わいの継続を図りたい。



【出雲大社（本殿）】

国宝に指定されている出雲大社本殿。平成25年5月10日には、ここで出雲大社の御神体が仮殿から御本殿に還られる“本殿遷座祭”が執り行われました。



【出雲駅伝】

体育の日に行われる、大学3大駅伝である“出雲駅伝”のスタート地点もこの神門通りです。毎年、多くの駅伝ファンや観光客で沿道が埋め尽くされます。



【おもてなしステーション（観光案内所）】

観光客への情報発信・案内等を目的に平成24年に市が神門通りに整備しました。毎年、10万人を超える観光客の方々が利用されます。



まち歩きに
疲れたときに
置き座でひと休み！



【まちあるきマップ】

町内の店舗が全て網羅された“まちあるきマップ”。逐次データ更新がしており、まちあるきの必需品です。



【修景整備】

神門通り沿線では、20年・30年先を見据え“できることから少しずつ”出雲大社の門前町にふさわしい“和”を基調とした修景整備をされています。



【島根県おもてなし特区を活用した事業】



【きものでおもてなし事業】



【縁結び人生ゲーム事業】



【日除け暖簾事業】



【だいこくさま設置事業】